

プレスリリース
日本政府によるイタリア人への叙勲について

2013年11月3日、日本政府は、顕著な対日功績のあった55名の外国人に叙勲を行うことを発表しました。55名のうち、下記の2名のイタリア人が含まれています。

氏名 : Teresa Ciapparoni La Rocca

肩書 : 日本研究者

叙勲名 : 旭日小綬章

叙勲理由 : ローマ大学文哲学部講師として、日本語、日本文学を担当し当地における日本語教育、日本研究の普及増進に貢献しました。日本文学の研究者として長年にわたって地道な研究を続け多大な功績を残しました。

略歴など : 同氏は1942年、ローマで生まれました。同氏は1964年、ISMEOの日本語学科を首席で卒業しました。その後、イタリア外務省に勤務するかたわら、日本文学の研究を続けました。1971年、ローマ大学文学部哲学部において現代文学修士号を取得、1982年に同大学同学部で現代外国語外国文学修士号（日本語）を取得しました。その後、2010年に退職するまで、39年間ローマ大学において日本語、日本文学の講義を継続してきました。同氏の研究功績はすぐれたものがあり、中でも芥川龍之介をはじめとする明治時代の文学については、イタリアでは第一人者として知られています。

氏名 : Franco Capelletti

肩書 : FUJLKAM(イタリア柔道・レスリング・空手・武道連盟) 副会長
欧州柔道連盟副会長
国際柔道連盟会員教育・コーチング委員会委員長

叙勲名 : 旭日小綬章

Ambasciata del Giappone, Ufficio Culturale

Via Quintino Sella, 60 – 00187 Roma

Tel. 06/487991 – Fax. 06/4873316

Homepage: <http://www.it.emb-japan.go.jp>

 Ambasciata del Giappone in Italia

叙勲理由：イタリア・オリンピック柔道代表チームのコーチを務め、メダリストを含む後人の育成に長年にわたって尽力し、地元のスポーツ教室や自身の柔道クラブにおける柔道指導や子供向け柔道紹介本、DVDの製作にも携わり、草の根レベルでの柔道普及にも大きく貢献しました。

略歴など：同氏は1938年、ブレーシャにおいて生まれました。同氏は若いころより日本の伝統武道である柔道に魅せられ、出身地ブレーシャから、柔道をするために週2度往復200キロの道のりを運転し、ミラノの道場「講道館」に入門しました。昭和1968年から、地元ブレーシャのスポーツクラブ「フォルツァ・エ・コスタンツァ」で柔道の指導を行い、多くの生徒を指示しました。彼の道場からは、多くのオリンピック・メダリストが排出されています。同氏は昭和1976年から昭和1988年まで、柔道のイタリア代表チームのコーチをつとめ、コーチとして3回のオリンピックに参加し、イタリアにメダルをもたらしました。さらに、トップレベルでの指導のみならず、同氏は子供や一般選手への柔道普及にも熱心であり、柔道についてのDVDや書籍も出版しています。欧州柔道連盟では副会長をつとめ、日本から講道館の師範を招へいし欧州の選手たちのための講習会をクロアチアやイタリアで開催したり、世界形選手権をマルタ、ハンガリー、ドイツ、イタリアで開催するなど、欧州における柔道界の発展のために尽力しています。